

PART 1



取引をはじめる前に

- SECTION 1-01 初回ログインについて
- SECTION 1-02 維持証拠金について
- SECTION 1-03 ファンディングコストと配当金
- SECTION 1-04 レバレッジについて
- SECTION 1-05 強制ロスカットについて
- SECTION 1-06 取引情報について



PART 1 取引をはじめる前に

SECTION はじめてのログインと口座の有効化

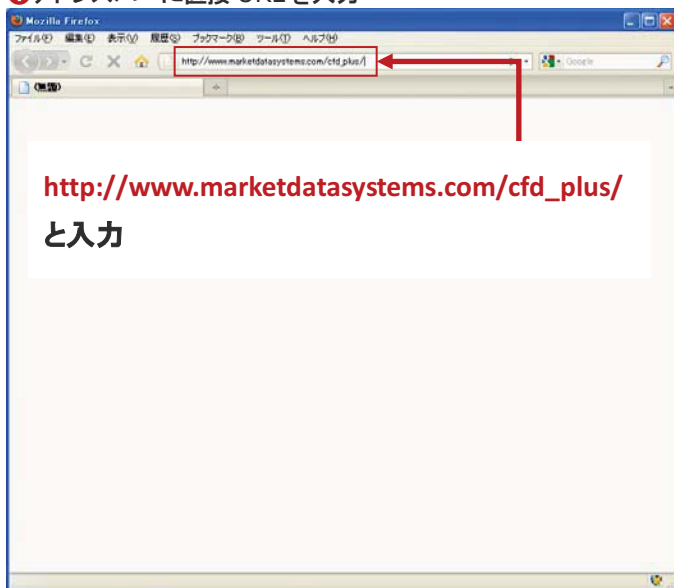
1-01 初回ログインについて

本取引システムは、ブラウザ上で軽快に操作できるプラットフォームです。そのため、面倒なソフトウェアのダウンロードが必要なく、インターネットにアクセスできる環境であれば、いつでもどこでも快適にお取引いただけます。

システムへのログイン方法

手順 1 インターネットブラウザにてサービスサイトへアクセスします。

①アドレスバーに直接 URL を入力



②または証券ログイン後のページよりリンクをクリック



手順 2 ログインボックスに CFD PLUS 口座開設申込フォームに入力したログイン ID とパスワードを入力してください。



ログイン
ログインID
パスワード
デモ口座
ログイン

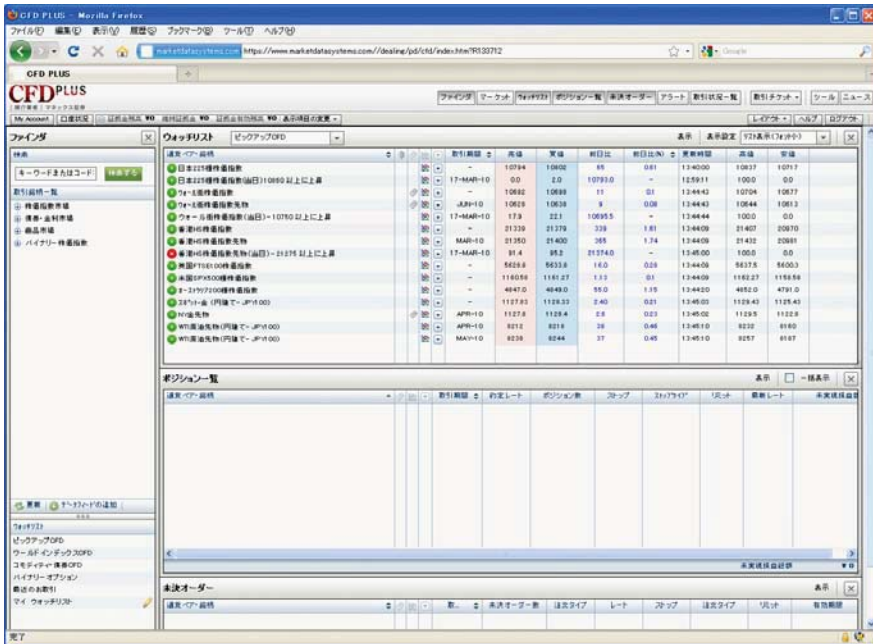
ログイン
ログインID
パスワード
デモ口座
ログイン

デモ口座へのログインの場合はパスワード欄下部の「デモ口座」にチェックをしてください。

PART 1 取引をはじめの前に

初回ログインについて

取引システム画面にログインができます



注意!

申込フォームに入力・送信後、お客さまは取引システムにログインができる状態となりますが、お取引はできない状態です。取引受託業者のエフエックス・オンライン・ジャパンに本人確認書類をご送付いただき、取引システムに入力して口座を有効化するためのベストレシーバー番号を郵送でお受け取りいただく必要があります。※デモ口座は有効化不要です。(下記「口座の有効化する」参照)

ワンポイント

取引システムへのログインに証券サイトへのログインは不要です。次回以降のログインのために、サービスサイト URL をインターネットブラウザの「お気に入り」に加えていただくと簡単にアクセス可能です。

口座を有効化する 《管理操作》

取引システムは申込フォームを送信後にログインいただける状態となりますが、お取引いただける状態ではありません。CFD 取引口座への入出金やシステム上での取引を開始いただくために「口座の有効化」が必要です。

口座を有効化するためのベストレシーバー番号はエフエックス・オンライン・ジャパンより郵送でお手元に届きます。

口座の有効化の前にお手元に届く書面を用意してください。

注意!

ベストレシーバー番号は、証拠金の入金していただくお客さま専用振込口座の支店番号と口座番号の 10 桁となります。書面はご自身で大切に保管してください。

※デモ口座は有効化の必要はなくログイン後すぐにお取引いただけます。

CFD PLUS
【紹介業者】 マネックス証券

〒000-0000
東京都
〇〇〇区〇〇
〇-〇-〇
CFD PLUS 様

ヘルプデスク
電話 : 0120-737-750
Eメール : info@marketdatastays.com
受付時間 : 24時間 (土日を除く)

01 口座開設手続き完了のご報告とお客さま専用振込口座のご案内
特約 終了しますご報告のことお喜び申し上げます。
この度は、口座開設のお申し込みをいただき誠にありがとうございました。
お客様の口座開設手続きが完了しましたので、ご報告とともにお客様専用振込口座のご案内をさせていただきます。

1.1 お客様専用振込口座のご案内
下記がお客様専用のお入金先となります。振込口座はお客様ごとにより異なりますので必ず振込先にご確認くださいませようお願ひ申し上げます。
銀行名・支店名 外資信託銀行 第一東京支店
口座種別・口座番号 普通預金 4567890
口座名義 エフエックス・オンライン・ジャパン(株)

1.2 ベストレシーバー番号のご案内
ベストレシーバー番号とはお客様の振込口座を有効化するためにシステムに紐付けられた際にご入力いただく番号です。
また、お客様は、「1.1 お客様専用振込口座のご案内」記載の振込先口座となり、3桁の支店番号、7桁の口座番号となりますので、お間違えのないようお願い申し上げます。口座の有効化に関する詳細はご参照下さい。
ベストレシーバー番号 1234567890

1.3 登録メールアドレスの確認
今後、本サービスからのお知らせは、登録メールアドレスにお送りします。万一、ご変更いただきましたメールアドレスと異なる場合がございます。お手数ですが admin@marketdatastays.com まで、**お名前・ご登録アドレス・メールアドレス**をご連絡下さい。
ご登録メールアドレス cfid@plus.com

1.4 ログインID/パスワードのご確認 ※システムログイン時に必要となります。
ログインIDおよびパスワードはご自身で画面に管理していただきますようお願い申し上げます。
ログインID CFDPPLUS
パスワード ひとくじり以上の英、半角数字でご案内いたしません。

注意
ログインID及びパスワードは、お申し込み時にお客様ご自身でご入力いただきとなります。パスワードをお忘れの場合は、ヘルプデスクまでご連絡いただきますようお願いいたします。

口座開設の依頼者: マネックス証券株式会社
〒100-0002 東京都千代田区丸の内一丁目10番1号
金融商品取引業者(関東) 第105号

取引業者: エフエックス・オンライン・ジャパン(株)株式会社
〒100-0002 東京都千代田区千代田2-4-10 丸の内ビルディング
金融商品取引業者(関東) 第255号

PART 1 取引をはじめる前に

初回ログインについて

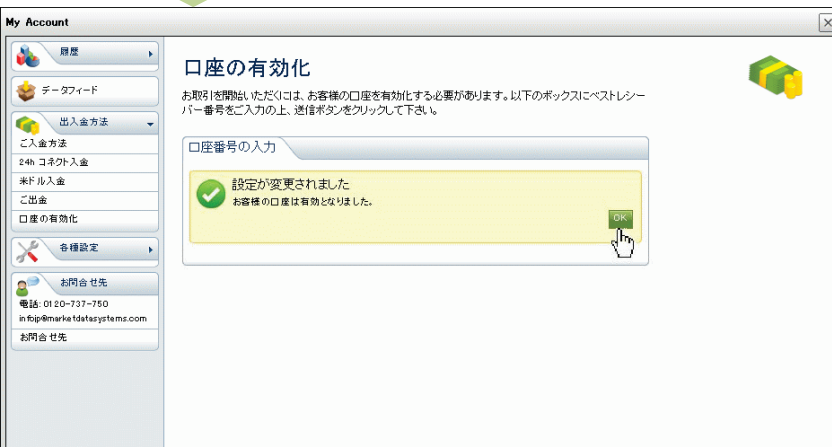
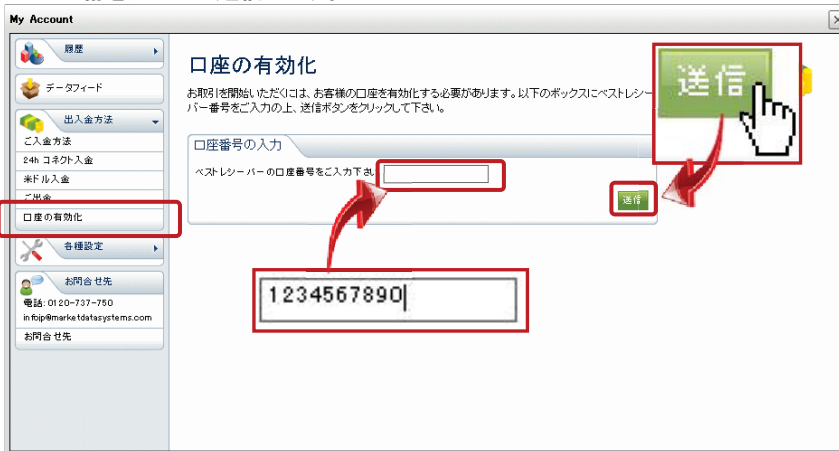
手順 1 システムにログインをして、左上の My Account をクリックします。



手順 2 「出入金方法」をクリックします。



手順 3 「口座の有効化」をクリックし、「口座開設手続き完了とお客さま専用振込先口座のご案内」記載のベストレシーバー番号 10桁を入力して送信します。



口座の有効化が完了し、取引システムでの入出金、取引ができるようになります。

※ システム上での入金については P64「My Account の見方」を参照してください。

1-02

維持証拠金について

維持証拠金とは

CFD とは、差金決済取引のことで、Contract For Difference の略語です。取引の方法は、FX(外国為替証拠金取引)と同じく、現物取引ではなく、証拠金を取引受託業者に預託し、原資産となる株価指数、株価指数先物、商品、商品先物など様々なジャンルのお取引を差金決済による売買を行っていただく取引です。

取引に必要な維持証拠金は、大きく分けて以下の 2 種類があります。

▶ スポット金・銀に適用されている「維持証拠金率」

総取引金額(マーケットレート×取引額)に対する『率』で算出され、マーケットレートの変動にあわせて変動します。

▶ 株価指数・商品・債券先物・金利先物等に適用されている「維持証拠金額」

取引額に応じた『定額』となっています。(相場水準等によって不定期に変更されます)

注文に必要な維持証拠金額はチケットに表示されています。

維持証拠金の計算方法 《通常注文(ストップ注文を付加しない注文)》

維持証拠金率の場合【マーケットレート(買値) × 取引額 × 維持証拠金率 = 維持証拠金額(小数点以下四捨五入)】

CASE 1

スポット・金の場合

A スポット・金のマーケットレート B 取引ロット数 C 1 ロットの取引額 D 維持証拠金率

$$1136.45 \times 1 \text{ ロット} \times 100 \text{ ドル} \times 3\%$$

E 維持証拠金額(USD)

$$= 3,409.35 \text{ ドル}$$

USD/JPYのレートが 88.640 円の時

E 維持証拠金額(USD)

$$3,409.35 \text{ ドル} \times 88.640 \text{ 円}(=1 \text{ ドル})$$

F 維持証拠金額(JPY)

$$= 302,205 \text{ 円}$$

チケット
 スポット・金 (100toz) (-)
 取引ロット数: 1
 買値: 1136.45
 売値: 1135.95
 証拠金通貨: USD
 証拠金額: USD \$ 3,409.35, JPY ¥ 302,205

取引銘柄情報
 スポット・金 (100toz)
 取引条件
 最低取引額: 1 約定取引額: USD 100
 1 ロットの取引額(ドル/毎): USD 100 (JPY 8,875)
 1 ピップ相当額: 1 \$ / 1 Troy Ounce
 維持証拠金率: 3%
 最低ストップ幅: 2
 最低ギャンブル/イースト幅: 2.50
 スリッページ係数: 20%

CASE 2

スポット・銀(円建て)の場合

A スポット・銀のマーケットレート B 取引ロット数 C 1 ロットの取引額 D 維持証拠金率

$$17.010 \times 5 \text{ ロット} \times 10,000 \times 5\%$$

E 維持証拠金額

$$= 42,525 \text{ 円}$$

チケット
 スポット・銀(円建て - JPY100) (-)
 取引ロット数: 5
 買値: 17.010
 売値: 16.980
 証拠金通貨: JPY
 証拠金額: JPY ¥ 42,525

取引銘柄情報
 スポット・銀(円建て - JPY100)
 取引条件
 最低取引額: 5 約定取引額: SIL 10,000
 1 ロットの取引額: 0.01 Dents/Troy Ounce
 1 ピップ相当額: JPY 100
 維持証拠金率: 5%
 最低ストップ幅: 10
 最低ギャンブル/イースト幅: 30
 スリッページ係数: 20%

PART 1 取引をはじめる前に

維持証拠金額について

維持証拠金額の場合【取引額ロット数 × 維持証拠金額(1 ロットあたり) = 維持証拠金額】

CASE 1 日本 225 種株価指数の場合

取引ロット数 維持証拠金額(1 ロットあたり)

1 ロット × 75,000 円

維持証拠金額
= 75,000 円

維持証拠金の計算方法 《ストップ注文を付加した場合》

損失想定額(ストップ幅×取引額) + 通常維持証拠金額(マーケットレート(買値) × 取引額 × 維持証拠金率) × スリッページ係数(スリッページ想定額) = 維持証拠金額

ストップ注文を付加した場合は、損失額が限定されるため、想定される損失額が維持証拠金となります。

ただし、通常のストップ注文の場合は、スリッページ(P40「ギャランティーストップについて」参照)が発生するリスクがあるため、通常の維持証拠金額に対して、銘柄ごとに定められたスリッページ係数(P12「取引情報について」参照)分が加算されます。

※ 「維持証拠金率」「維持証拠金額」適用銘柄、「トレーリングストップ注文」も同じ計算方法となります。

※ スリッページ係数が 0(ゼロ)の銘柄もあります。

CASE 1 スポット・金の場合

ストップ幅を 10 ピップ(10 ドル)に設定

ストップ幅 取引ロット数 1 ロットの取引額

10 ピップ × 1 ロット × 100 ドル

損失想定額(USD)
= 1,000 ドル

マーケットレート 取引ロット数 1 ロットの取引額 維持証拠金率 スリッページ係数
1136.75 × 1 ロット × 100 ドル × 3% × 20%

スリッページ想定額(USD)
= 682.05 ドル

損失想定額(USD) スリッページ想定額(USD) 維持証拠金額(USD)
1,000 ドル + 682.05 ドル = 1,682.05 ドル

USD/JPYのレートが 88.758 円の時

維持証拠金額(USD) × 88.758 円 (= 1 ドル)

維持証拠金額(JPY)
= 149,296 円

※ 両建てポジションの場合は証拠金の計算方法がかわります。詳しくは P45「両建て(ヘッジ)取引について」を参照してください。

ワンポイント

損失想定額とスリッページ係数(スリッページ想定額)の合計が維持証拠金となります。

① 損失想定額(USD) 1,000 ドル
② スリッページ想定額(USD) 682.05 ドル
③ 維持証拠金額(USD) 1,682.05 ドル

PART 1 取引をはじめる前に

維持証拠金額について

維持証拠金の計算方法 《ギャランティーストップ注文を付加した注文》

$$\text{【損失額(ストップ幅} \times \text{取引額)} \times \text{取引額ロット数} = \text{維持証拠金額】}$$

ギャランティーストップ注文を付加した場合は、損失額が確定されるため、確定している損失額が維持証拠金となります。ただし、決済通貨が円以外の場合はその通貨の対円レートによって維持証拠金額は変動します。
※ 「維持証拠金率」「維持証拠金額」提供銘柄とも同じ計算方法となります。

CASE 1 スポット・金の場合

ストップ幅を 2.5 ピップ(2.5 ドル)に設定

①ストップ幅 ②取引ロット数 ③ロットの取引額

2.5 ピップ × 1 ロット × 100 ドル

④維持証拠金額(USD)

= 250 ドル

USD/JPYのレートが 88.640 円の時

⑤維持証拠金額(USD)

250 ドル × 88.640 円 (=1 ドル)

⑥維持証拠金額(JPY)

= 22,160 円



注意!

ストップ注文にて設定する「ピップの値幅」には、各銘柄によって異なる最低値幅が決まっており、(Min:)で表示されます。

ストップ注文が付加されている注文およびポジションの維持証拠金額は、通常の金額が上限となりますが、ギャランティーストップ注文の場合は、設定値幅が広い場合、通常の維持証拠金額以上になる場合があります。

ストップ注文はストップ注文レートとマーケットレートの値幅の変動に伴い、維持証拠金も変動します。例えば買い注文の場合、発注後に相場が上昇し、ストップ注文レートとマーケットレートとの値幅が広がると維持証拠金額が増額されますが、その分、未確定損益が利益となり、有効証拠金残高が増えます。反対に、発注後に相場が下託して値幅が狭まると維持証拠金額が減額されますが、その分、未確定損益が損失となり、有効証拠金残高が減ります。

また例えば、ストップを付加していない維持証拠金が10万円の注文に対して、損失幅が8万円のストップ注文を付加したとします。その場合、維持証拠金額は8万円となりますが、マーケットレートの変動により10万円までは増額されますが、それ以上に増額はされません。

反対に、同注文に対して、損失幅が12万円のストップ注文を付加したとします。その場合、維持証拠金額は10万円となりますが、マーケットレートの変動により、10万円を下回ったところから減額されます。

維持証拠金の計算方法 《バイナリーオプション取引の場合》

$$\text{上昇すると予想して買った場合} \quad \text{【買値} \times \text{取引額} = \text{維持証拠金額】}$$

$$\text{上昇しないと予想して売った場合} \quad \text{【-(売値-100)} \times \text{取引額} = \text{維持証拠金額】}$$

バイナリーオプション取引の維持証拠金額は、その取引の最大損失額と同額となります

「〇〇以上に上昇」を上昇すると予想して買った場合、予想に反して条件設定値段を上回らなければ、0(ゼロ)で生産されますので、買値 × 取引額が維持証拠金額となります。

「〇〇以上に上昇しない」と予想して売った場合は、条件設定値段を上回れば 100 で清算されますので、-(売値-100) × 取引額が維持証拠金額となります。

※詳しくは P51「バイナリーオプションについて」を参照してください。

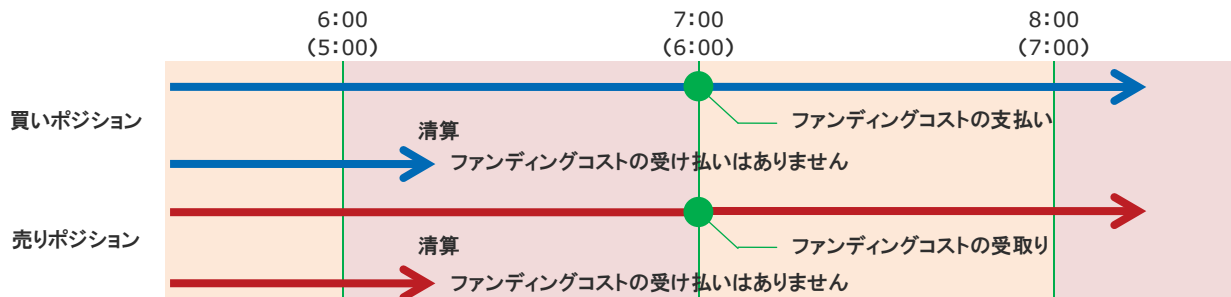
1-03 ファンディングコストについて

ファンディングコスト(資金調達コスト)とは

ファンディングコストとは保有ポジションに対する金利のことで、オーバーナイト金利や資金調達コストとも呼ばれます。ファンディングコストは保有しているポジションを1日、2日……と持ち越すことによって発生するもので、デイトレード(日計り売買)では発生しません。

ファンディングコストは「買い」で“支払い”、「売り」で“受取り”

CFD取引は購入代金の全額を支払うことなく、維持証拠金の範囲内でポジションを保有できますが、保有したポジションによって購入金額に対する金利が発生します。買いポジションを保有した際は「購入代金＝借入金」という仕組みになりますので、日々金利を支払うことになります。反対に、売りポジションを保有した際は「売却代金＝貸付」という仕組みになりますので、日々金利が受け取れることになります。



この金利分をファンディングコストといい、日をまたいで(日本時間7:00/夏季は6:00)ポジションを待ちこした場合には発生します。ファンディングコストの算出に使われる金利は、当該国の指標金利(エフエックス・オンライン・ジャパンの場合は通常 LIBOR)が中値となり、買いポジションの場合は「指標金利+2.0%」の支払い、売りポジションの場合は「指標金利-2.0%」の受取りとなります。

ファンディングコストの計算方法

ミニ・日本 225 種株価指数の 2 ロットの買いポジションを保有し、指標金利(円 LIBOR)が 0.35% で、銘柄価格が 10,300 円で日をまたいだ場合

$$\begin{array}{ccccccc} \text{銘柄価格} & \text{倍率} & \text{取引ロット数} & \text{指標金利} & +2\% & \text{1日分} & \text{資金調達コスト} \\ 10,300 \text{ 円} & \times & 100 & \times & 2 & \times & (0.35\% + 2.00\%) \times 360 \text{ 日} = 134.5 \text{ 円の支払い} \end{array}$$

ミニ・日本 225 種株価指数の 2 ロットの売りポジションを保有し、指標金利(円 LIBOR)が 0.35% で、銘柄価格が 10,300 円で日をまたいだ場合

$$\begin{array}{ccccccc} \text{銘柄価格} & \text{倍率} & \text{取引ロット数} & \text{指標金利} & -2\% & \text{1日分} & \text{資金調達コスト} \\ 10,300 \text{ 円} & \times & 100 & \times & 2 & \times & (0.35\% - 2.00\%) \times 360 \text{ 日} = 94.4 \text{ 円の支払い} \end{array}$$



当該国の指標金利が低金利(通常 2.0%未満)の場合は、売りポジションであっても支払いとなります。

SECTION リスクと資金効率

1-04 レバレッジについて

レバレッジとは

FX 取引同様、銘柄を取引するにあたって、総取引金額を支払うことなく、少額の資金(証拠金)を預け入れることで、同様の取引を行うことができるのが、CFD 取引の魅力のひとつです。

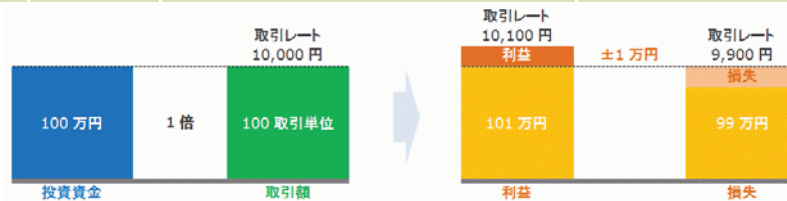
下記の例のように、投資資金に対して、リスクを取って大きな取引を行うことや、同じリスクを取っても少額の投資資金で運用することで資金効率を良くすることが可能となります。このような証拠金制度での取引の仕組みを「レバレッジ(てこの原理)」と呼んでいます。

取引を行った場合のパターン比較 《3つのケース》

投資資金 100 万円 取引レートが 10,000 円の銘柄 の取引を行うと・・・

CASE 1 現物取引(レバレッジ 1 倍)の場合

レバレッジ	投資資金	証拠金額	総取引金額	±100 円での損益
1 倍	100 万円	—	100 取引単位(×10,000 円)=100 万円	±100 円×100 取引単位 =±1 万円の損益



CASE 2 CFD 取引で、レバレッジ 100 倍で 1 万取引単位分の取引を行った場合

レバレッジ	投資資金	証拠金額	総取引金額	±100 円での損益
1 倍	100 万円	100 万円	1 万取引単位(×10,000 円)=1 億円	±100 円×1 万取引単位 =±100 万円の損益

例えば CASE 1 のような±100 円の値動きで 1 万円損益が発生する銘柄が CFD にあったとします。

この場合、投資資金に対して 1%の損益が発生します。それに対してレバレッジ 100 倍での取引の CASE 2 の場合、同じ±100 円の値動きで 100 万円、同 100%損益が発生します。このようにハイリスクハイリターン取引であるので、「レバレッジが高いほどリスクが高い」と言われます。



CASE 3 CFD 取引で、レバレッジ 100 倍で 100 取引単位分の取引を行った場合

レバレッジ	投資資金	証拠金額	総取引金額	1ドル=±1.00 円での損益
1 倍	100 万円	1 万円	100 取引単位(×10,000 円)=100 万円	±100 円×100 取引単位 =±1 万円の損益

CASE 2 と同じく、CFD 取引でレバレッジも 100 倍ですが、取引する総取引金額を、CASE 1 と同じ 100 万円に抑えています。これにより、証拠金額は 1 万円に下がり、100 円の値動きで 1 万円(1%)の損益となります。よって、レバレッジは CASE 2 と同じで、リスク(値動きに対する損失額)は CASE 1 と同じということになります。レバレッジの設定によって「レバレッジが高いほどリスクが高い」というのではなく、同じ投資資金でも、取引している総取引金額によってリスクは変わるということです。



1-05 強制ロスカットについて

本サービスでは、お預かりしている証拠金額以上に損失が拡大することを未然に防ぐため、お客さまご自身で設定していただく「ストップロス注文」とは別に、「マージンコール」と「強制ロスカット機能」を採用しています。

マージンコールとは

お客さまからお預かりしている「証拠金残高」と、現在のポジションに対して発生している「未実現損益額(未確定損益)」の合計を「証拠金有効残高」といいます。そして、ポジションを保有するために必要な証拠金額を「維持証拠金」といいます。本取引システムでは「未実現(未確定)損失」が拡大し、「証拠金有効残高」が「維持証拠金額」を下回った時点で、お客さまに注意を促すメール(マージンコール)をお送りします。お受け取りの際には、ポジションの調整や追加入金などのご判断をお客さまにお願いしています。マージンコールは原則として1日(ロンドン時間0時を基準)1回の送信となります。よって一旦回避された後、同日に再度マージンコールが送信される状態となった場合、メールは再送されません。また、相場変動が激しい場合、マージンコールがお客さまに届いた時点で強制ロスカット(※後述)が執行されている場合があります。

強制ロスカットとは

「証拠金残高」が「維持証拠金額」を下回った後、さらに「維持証拠金額」に対して「証拠金有効残高」が80%を下回った場合、強制的にリープオーダー(新規指値注文)やポジションが順次取消/清算される機能です。

マージンコール・強制ロスカットの確認方法 《管理操作》

手順 1

2,000,000 円の証拠金残高から取引を始めたとします。
取引システムに表示されている維持証拠金率は次のように計算します。

$$66.7\% = \frac{\text{A維持証拠金率} \quad \text{B維持証拠金} \quad \text{C証拠金有効残高}}{1,000,000 \text{ 円} \div 1,500,000 \text{ 円}}$$

CFD PLUS

[媒介業者] マネックス証券

My Account □ 口座状況 **A** 維持証拠金 ¥1,000,000 **C** 証拠金有効残高 ¥1,500,000 **B** 維持証拠金率 66.7% 表示項目の変更 ▾

この場合、現在-500,000 円ですが、「証拠金有効残高」-「維持証拠金額」=マージンコールまで残り 500,000 円の余裕があるということになります。

手順 2

100%に達した時点でマージンコールとなり、リープオーダー(新規指値注文)も含めた注文が出せなくなります。

注意!

取引システムでの「維持証拠金率」の計算は「維持証拠金額÷証拠金有効残高」となっており、100%が上限となります。よって、計算上は125%を超えた時点(手順3 100万円÷79万円=127%)で強制ロスカットとなります。

手順 3

B維持証拠金額1,000,000円に対して80%に当たる800,000円を、**C**証拠金有効残高が下回った時点で強制ロスカットとなりますので**D**未実現損益額の総額が-1,200,000円を超えた場合となります。

取引できます

手順 1



マージンコール

手順 2



強制ロスカット

手順 3



PART 1 取引をはじめる前に

強制ロスカットについて

手順 4

現在の維持証拠金額と未実現損益額は My Account「口座状況」または「口座状況」のダッシュボードにて確認できます。

①画面左上の **My Account** をクリックし、My Account「口座状況」から

The screenshot shows the 'My Account' page with a sidebar on the left containing navigation options like '取引状況明細書' and '口座状況'. The main content area is titled '口座概要' and contains several sections: '口座情報', '証券会社情報', '未実現損益', and '維持証拠金額 (円)'. The '未実現損益' section is circled in red and labeled with a circled 'D'. The '維持証拠金額 (円)' section is also circled in red and labeled with a circled 'B'. A small table below shows 'リスク限定ポジション' and '非リスク限定ポジション' with values of -500,000 and 0 respectively, with a total of -500,000.

②画面左上の **口座状況** をクリックし、ダッシュボードから

The screenshot shows the '口座状況' dashboard with a table of key metrics. The table is as follows:

未実現損益	¥-500,000
リスク限定ポジション	¥-500,000
非リスク限定ポジション	¥0
証拠金残高	¥2,000,000
証拠金有効残高	¥1,500,000
維持証拠金率	66.7%
維持証拠金	¥1,000,000
リスク限定ポジション	¥1,000,000
非リスク限定ポジション	¥0
取引可能残高	¥500,000

The '未実現損益' and '維持証拠金' rows are circled in red and labeled with circled 'D' and 'B' respectively.

ワンポイント

強制ロスカットされる順番は？

- ① 未決オーダー(リーブオーダー=新規指値注文)
- ↓
- ② ストップなしポジション
- ↓
- ③ ストップ付ポジション
- ↓
- ④ ギャランティストップ付ポジション

の順で、維持証拠金額が証拠金有効残高を下まわるまで強制ロスカットが行われます。

※同列の場合は、

①→ストップありなし関係なく、建てた時間が古い順にロスカットとなります。②③④→建てた時間が古い順に、ポジションごとにロスカットとなります

注意!

原則として上記の順で処理が行われますが、マーケットの状況によっては、未決オーダーの取消よりポジションの清算が優先される場合があります。

SECTION 取引要綱の確認

1-06 取引情報について

取引情報について

各銘柄の取引に関する概要や情報は、「取引銘柄情報」にてご確認ください。

取引銘柄情報ウィンドウを表示するには 《設定操作》

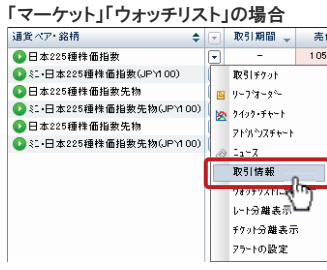
手順 1 「ファインダ」「マーケット」「ウォッチリスト」いずれかの画面を表示させます。取引システム上段の ファインダ マーケット ウォッチリスト ボタンをクリックすると各画面が表示されます。

手順 2 表示させた画面より「取引銘柄情報」を表示させたい「通貨ペア・銘柄」の ▼ 「メニュー」を選択します。

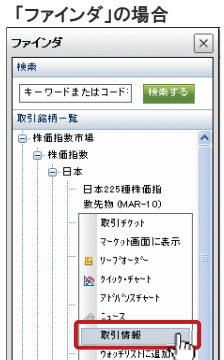
手順 3 ▼ 「メニュー」から「取引情報」を選択します

手順 4 「取引銘柄情報」が表示されます

「マーケット」「ウォッチリスト」の場合



「ファインダ」の場合



株価指数 CFD 取引 《取引概要》

株価指数 CFD 取引の場合、このような情報が表示されます。

日本 225 種株価指数の場合

取引銘柄情報

日本225種株価指数

取引条件

A	最低取引数	1 約定取引数	JPY 500
B	1 ロットの取引額(1ピップ毎)	1 ピップ相当値	1 Index Point
C	1 ピップ相当額	JPY 500	
D	維持証拠金額(取引毎)	JPY 75,000	
E	最低ストップ幅	30	
F	最低ギャランティーストップ幅	24	
G	1取引毎のスリッページ係数	JPY 15,000	
H			

コード

チャート・シンボルコード -

① ニュースコード N225

証拠金額

お客様のこの銘柄におけるポジションの総計には、以下の証拠金率変動制度に基いた証拠金率が適用されます:

階層	ポジション数 (取引ロット数)	維持証拠金額(取引毎)
1	0 - 72	75000
2	72 - 285	75000
3	285 - 1440	1800000
4	1440+	3600000

レベル1範囲内のポジション総数でお取引されている場合、ストップ及びギャランティーストップ注文を付加することにより、お客様の維持証拠金額は減額されます。しかし、レベル2以上になった時点で、ストップ注文(ギャランティーストップを除く)が付加されても維持証拠金額の減額はなくなり、変動証拠金率が適用となりますのでご注意ください。

その他

追加情報

注記:弊社はこの情報の正確性については万全を期しておりますが、その内容の正確性を保証するものではありません。

取引条件

- A **最低取引数** 1 約定取引数
 最低取引ロット数が 1 ロットとなります。
- B **1 ロットの取引額(1ピップ毎)** JPY 500
 1 ロットあたりの取引金額が、「JPY500」の場合、1ピップ(円)あたり 500 円、すなわち 500 倍の取引額となります。取引レート 10,000 円(ポイント)で 1 ロット買いポジションを保有している場合、10,000 円(ポイント)×500 倍=50,000,000 円(ポイント)が総取引金額となります。
- C **1ピップ相当値** 1 Index Point
 その銘柄の最小単位で、「1 Index Point」の場合、1ピップが 1 ポイント(「日本 225 種株価指数」の場合は 1 円)となります。
- D **1ピップ相当額** JPY 500
 1 ロットの取引で 1ピップの値動きに対する損益額です。「JPY500」の場合、1ピップ(円)あたり 500 円の損益が発生します。

PART 1 取引をはじめる前に

取引情報について

⑤ 維持証拠金額(1取引毎) JPY 75,000

ストップ注文を付加していないポジションを保有するために必要な維持証拠金額です。「JPY 75,000」の場合、1ロットあたり「定額」となっており、75,000×ロット数＝維持証拠金額となります。維持証拠金 75,000 円は、マーケットレートを 10,000 円とした場合、証拠金率で約 1.5%、レバレッジで言うと約 66.7 倍に値します。計算式は下記の通りです。

$$\frac{\text{維持証拠金額}}{\text{総取引金額}} = \text{維持証拠金率}$$
$$75,000 \text{ 円} \div (10,000 \text{ 円} \times 500) = 1.5\%$$

$$\frac{100}{\text{維持証拠金率}} = \text{レバレッジ}$$
$$100 \div 1.5\% = 66.7(\text{倍})$$

維持証拠金(＝証拠金有効残高とする)75,000 円に対して 20%(15,000 円)を超える未確定損失が発生した場合に強制ロスカットとなり、15,000 円÷500＝30 円がその値動きとなります。そして、75,000 円÷500＝150 円の値動きで、維持証拠金に対して同額の利益もしくは損失となります。(P5「維持証拠金について 維持証拠金の計算方法」参照)

⑥ 最低ストップ値幅 30

ストップ注文を設定する場合の、マーケットレートからの最低乖離幅です。

「30」の場合、マーケットレートに対して、30 ピップ以上での設定となります。チケットでは「Min30」と表示されます。



注意!

「スプレッド」が「最低ストップ値幅」より広がっている場合は、「スプレッド+1 ピップ」が「最低ストップ値幅」となります。

【例】売値 10,000/買値 10,050(スプレッド 50)のときに、買いポジション(買値)10,050 に対して、値幅 30 でストップ注文が付加されると、ストップ値段(売値)が、10,020 となり、買い約定と同時に売り(清算)も約定してしまいます。よってストップ値段(売値)が、売値 10,000 未満となるように、「スプレッド 50+1」が最低ストップ値幅となります。

※買値 10,050－(スプレッド 50+1)＝ストップ値段(売値)9,999

⑦ 最低ギャランティストップ幅 150

ギャランティストップ注文を設定する場合の、マーケットレートからの最低乖離幅です。

「150」の場合、マーケットレートに対して、150 ピップ以上での設定となります。チケットでは「Min:150」と表示されます。

⑧ 1取引毎のスリッページ係数 JPY 15,000

スリッページ係数が 0(ゼロ)になっている銘柄は、ストップ注文を設定した場合、想定される損失額が維持証拠金額となります。



注意!

スリッページ係数が 0(ゼロ)であっても、スリッページのリスクはあります。

コード

① ニュースコード .N225

クリックするとニュース画面が起動し、関連するニュースをご覧いただけます。

② 証拠金額

本サービスでは、特定の銘柄に対して「変動証拠金制度」を導入しています。変動証拠金制度は、お客さまの保有する総ポジション数に応じた証拠金額(証拠金率)を設定する制度です。本制度により、同一銘柄において保有ポジション数が少ない場合は原市場に与える影響が小さいため、証拠金率は「最低証拠金率」に抑えられますが、ポジション数が増えると、原市場に与える影響が大きくなり、総ポジション全てを一括して清算することが難しくなるため、証拠金率が段階的に高くなりますので、ご注意ください。

日本 225 株価指数の場合、レベル 1、レベル 2 は JPY75,000 となりますが、285 ロット以上 1440 ロット未満のレベル 3 では 1 ロットあたり JPY1,800,000、1440 ロット以上のレベル 4 では 1 ロットあたり JPY3,600,000 の維持証拠金額となります。

また、レベル 2(72 ロット以上)から通常のスリッページ注文において、証拠金の減額はありせん。

※設定されている数値は固定ではありませんので、マーケットの状況に応じて変動する場合があります

PART 1 取引をはじめる前に

取引情報について

株価指数先物 CFD 取引 《取引概要》

株価指数先物 CFD 取引の場合、このような情報が表示されます。

ウォール街株価指数先物の場合

取引銘柄情報

ウォール街株価指数先物 APR-10

取引条件

- 最低取引数 1 約定取引数
- 1 ロットの取引額(ピップ毎) USD 10
- 1 ピップ相当値 1 Index Point
- 1 ピップ相当額 USD 10 (JPY 905)
- 維持証拠金額(取引毎) USD 800 (JPY 72,400)
- 最低ストップ値幅 10
- 最低ギャップ幅 50
- 1 取引毎のスリッページ係数 USD 160 (JPY 14,480)

コード

- チャート・シンボルコード -
- ニュースコード .DJI

清算情報

- 清算日 10/04/16
- 最終取引日時 10/04/16 23:30
- 清算方法 Settles basis the Special Opening Quotation of the Dow as reported by CBOT.

ロールオーバー

- ロールオーバー更新時刻 10/04/16 23:15
- ロールオーバー情報 Usually, initial position closed at official closing level of day before last dealing day; new position in next contract opened at official closing level of the new contract from same day. +/- opening spread (and DR premium)

証拠金額

お客様のこの銘柄におけるポジションの総計には、以下の証拠金率変動制度に基いた証拠金率が適用されます:

階層	ポジション数(取引口)数	維持証拠金額(取引毎)
1	0 - 40	800
2	40 - 160	800
3	160 - 800	2500
4	800+	5000

レベル1範囲内のポジション総数で取引されている場合、ストップ及びギャランティーストップ注文を付加することにより、お客様の維持証拠金額は減額されます。しかし、レベル2以上になった時点で、ストップ注文(ギャランティーストップを除く)が付加されていても維持証拠金額の減額はなくなり、変動証拠金率が適用となりますのでご注意ください。

その他

追加情報

注記:弊社はこの情報の正確性については万全を期しておりますが、その内容の正確性を保証するものではありません。

① APR-10

先物取引の場合「限月」が表示されます。「APR-10」の場合「10年4月限」となります。

取引条件

② 最低取引数 1 約定取引数

最低取引ロット数が1ロットとなります。

③ 1 ロットの取引額(1ピップ毎) USD 10

1 ロットあたりの取引金額が、「USD10」の場合、1ピップあたり10ドル、すなわち10倍の取引額となります。取引レート10,000ドル(ポイント)で1ロット買いポジションを保有している場合、10,000ドル(ポイント)×10=100,000ドル(ポイント)、USD/JPYが100.00円の場合は10,000,000円が総取引金額となります。

④ 1ピップ相当値 1 Index Point

その銘柄の最小単位で、「1 Index Point」の場合、1ピップが1ポイント(「ウォール街株価指数先物」の場合は1ドル)となります。

⑤ 1ピップ相当額 USD 10 (JPY905)

1 ロットの取引で1ピップの値動きに対する損益額です。「USD10(JPY905)」の場合、1ピップの値動きで10ドルの損益となります。()内が日本円換算で、USD/JPYが90.50円の場合、905円(10ドル×90.50円)となります。

⑥ 維持証拠金額(1取引毎) USD 800 (JPY72,400)

ストップ注文を付加していないポジションを保有するために必要な維持証拠金額です。「USD800」の場合、1ロットあたり「定額」となっており、USD/JPYが90.50円の場合、800ドル×90.50円(USD/JPY)×1(ロット数)=72,400円(維持証拠金額)となります。維持証拠金800ドルは、マーケットレートを8,000ドルとした場合、証拠金率が約1.0%、レバレッジで言うと約100倍に値します。計算式は下記の通りです。

$$\frac{\text{維持証拠金額}}{\text{総取引金額}} = \frac{\text{維持証拠金率}}{\text{レバレッジ}}$$
$$800 \text{ ドル} \div (8,000 \text{ ドル} \times 10 \text{ 倍}) = 1.0\%$$
$$100 \div 1.0\% = 100 \text{ (倍)}$$

維持証拠金1,000ドルに対して20%(200ドル)を超える未確定損失が発生した場合に強制ロスカットとなり、200ドル÷10=20ドルがその値動きとなります。そして、1,000ドル÷10=100ドルの値動きで、維持証拠金に対して同額の利益もしくは損失となります。

⑦ 最低ストップ値幅 10

ストップ注文を設定する場合の、マーケットレートからの最低乖離幅です。

「10」の場合、マーケットレートに対して、10ピップ以上での設定となります。チケットでは「Min:10」と表示されます。



「スプレッド」が「最低ストップ値幅」より広がっている場合は、「スプレッド+1ピップ」が「最低ストップ値幅」となります。
【例】P12「取引情報について 株価指数 CFD 取引」参照)

PART 1 取引をはじめる前に

取引情報について

Ⓜ 最低ギャランティストップ幅 50

ギャランティストップ注文を設定する場合の、マーケットレートからの最低乖離幅です。「150」の場合、マーケットレートに対して、150 ピップ以上での設定となります。チケットでは「Min150」と表示されます。

① 1 取引毎のスリッページ係数 USD 160 (JPY14,480)

スリッページ係数が 0(ゼロ)になっている銘柄は、ストップ注文を設定した場合、想定される損失額が維持証拠金額となります。



注意!

スリッページ係数が 0(ゼロ)であっても、スリッページのリスクはあります。

コード

④ ニュースコード .DJI

クリックするとニュース画面が起動し、関連するニュースをご覧いただけます。

取引最終日

Ⓚ 清算日 10/04/16

原市場における納会日(先物取引契約の取引期限)に基づいた、取引システム上で取引できる「満期日(最終清算日)」です。

Ⓛ 最終取引日時 10/04/16 23:30

システム上で取引できる最終日時(日本時間)です。

Ⓜ 清算方法

最終取引日時に自動的に清算される方法です。



注意!

先物取引は、各限月ごとに定められた最終取引日時までポジションを保有し続けると、自動的に清算されます。ポジションを保有している限月を清算し、期先(期限が先)の限月でポジションを保有しなおす「ロールオーバー」を自動的にシステム上で行うことはできません。「清算日」と「清算方法」についてはサービスサイトの「株価指数 CFD 契約詳細情報」でご確認の上、十分ご注意ください。
http://www.marketdatasystems.com/cfd_plus/indices-cd.html

ロールオーバー

Ⓝ ロールオーバー更新時刻 10/04/16 23:15

エフエックス・オンライン・ジャパンで事前にロールオーバーの処理を希望されたお客さまのポジションを清算し、期先の限月でポジションを保有しなおす処理を行う時間です。

Ⓞ ロールオーバー情報

ロールオーバー更新時刻にロールオーバーを行う方法です。

Ⓟ 証拠金額

本サービスでは、特定の銘柄に対して「変動証拠金制度」を導入しています。変動証拠金制度は、お客さまの保有する総ポジション数に応じた証拠金額(証拠金率)を設定する制度です。本制度により、同一銘柄において保有ポジション数が少ない場合は原市場に与える影響が小さいため、証拠金率は「最低証拠金率」に抑えられますが、ポジション数が増えると、原市場に与える影響が大きくなり、総ポジション全てを一括して清算することが難しくなるため、証拠金率が段階的に高くなりますので、ご注意ください。

ウォール街株価指数先物の場合、レベル 1、レベル 2 は USD800 となりますが、160 ロット以上 800 ロット未満のレベル 3 では 1 ロットあたり USD2,500、800 ロット以上のレベル 4 では 1 ロットあたり USD5,000 の維持証拠金額となります。

また、レベル 2(40 ロット以上)から通常のストップ注文において、証拠金の減額はありせん。

※設定されている数値は固定ではありませんので、マーケットの状況に応じて変動する場合があります

PART 1 取引をはじめる前に

取引情報について

商品スポット CFD 取引 《取引概要》

商品スポット CFD 取引の場合、このような情報が表示されます。

スポット・金の場合

取引銘柄情報

スプレッド・金

取引条件

最低取引数	1 約定取引数
1 ロットの取引額(1ピップ毎)	USD 100
1ピップ相当値	1 \$/Troy Ounce
1ピップ相当額	USD 100 (JPY 9,044)
維持証拠金率	3%
最低ストップ値幅	1
最低ギャランティストップ幅	2.50
スリッページ係数	20%

コード

チャート・シンボルコード	GOLD
ニュースコード	GOL

証拠金額

お客様のこの銘柄におけるポジションの総計には、以下の証拠金率変動制度に従った証拠金率が適用されます:

階層	ポジション数 (取引ロット数)	適用証拠金率
1	0 - 37	3%
2	37 - 149	3%
3	149 - 740	3%
4	740+	5%

レベル1範囲内のポジション総数でお取引されている場合、ストップ及びギャランティストップ注文を付加することにより、お客様の維持証拠金額は減額されます。しかし、レベル2以上になった時点で、ストップ注文(ギャランティストップを除く)が付加されていても維持証拠金額の減額はなくなり、変動証拠金率が適用となりますのでご注意ください。

その他

追加情報

注記:弊社はこの情報の正確性については万全を期しておりますが、その内容の正確性を保証するものではありません。

取引条件

Ⓐ 最低取引数 1 約定取引数

最低取引ロット数が 1 ロットとなります。

Ⓑ 1 ロットの取引額(1ピップ毎) USD 100

1 ロットあたりの取引金額が、「USD100」の場合、1 ピップ(=1 ドル)あたり 100 ドル、すなわち 100 倍の取引額となります。マーケットレートは 1toz(トロイオンス)あたりの値段です。1toz あたり 1ドルの値動きで、100ドルの損益が発生するという事は、1 ロットで 100toz の取引を行っているということです。よって、取引レート900ドルで 1 ロット買いポジションを保有している場合、 $900 \text{ドル} \times 100\text{toz} = 90,000 \text{ドル}$ 、USD/JPY が 100.00 円だった場合は 9,000,000 円が総取引金額となります。

ワンポイント

日本での金の単位は一般的に「g(グラム)か kg(キログラム)」ですが、国際的な単位は「toz(トロイオンス)」が用いられ、 $1\text{toz} \approx 31.1035\text{g}$ となります。よって、1 ロット=100toz は約 3.11kg(3,110.35g)のお取引になります。

Ⓒ 1ピップ相当値 1 \$/Troy Ounce

その銘柄の最小単位で、「1 \$/Troy Ounce」の場合、1ピップが1ドルとなります。

Ⓓ 1ピップ相当額 USD 100(JPY9,044)

1 ロットの取引で 1 ピップの値動きに対する損益額です。「USD100(JPY9,044)」の場合 100 ドル、USD/JPY=90.44 円の場合、9,044 円の損益が発生します。

Ⓔ 維持証拠金率 3%

維持証拠金率 3%=ストップ注文を付加していないポジションを保有するために必要な維持証拠金額です。3%はレバレッジで言うと約 33 倍に相当します。

$$\text{マーケットレート} \quad \text{取引量} \quad \text{USD/JPY} \quad \text{維持証拠金率 (またはレバレッジ)} \quad \text{維持証拠金額}$$
$$900.00 \text{ドル} \times 100 \text{toz} (=1 \text{ロット}) \times 90.44 \text{円} \times 3\% \text{ (または} \div 33.333) = 244,188 \text{円}$$

維持証拠金(=証拠金有効残高とする)2,700ドルに対して 20%(540ドル)を超える未確定損失が発生した場合に強制ロスカットとなり、 $540 \text{ドル} \div 100 = 5.40 \text{ドル}$ がその値動きとなります。そして、 $2,700 \text{ドル} \div 100 = 27 \text{ドル}$ の値動きで、維持証拠金に対して同額の利益もしくは損失となります。(P5「維持証拠金について 維持証拠金の計算方法」参照)

Ⓕ 最低ストップ値幅 1

ストップ注文を設定する場合の、マーケットレートからの最低乖離幅です。「1」の場合、マーケットレートに対して、1ピップ(ポイント)以上での設定となります。チケットでは「Min:1」と表示されます。

Ⓖ 最低ギャランティストップ幅 2.50

ギャランティストップ注文を設定する場合の、マーケットレートからの最低乖離幅です。「2.50」の場合、マーケットレートに対して、2.5ピップ以上での設定となります。チケットでは「Min:2.50」と表示されます。

PART 1 取引をはじめる前に

取引情報について

H スリッページ係数 20%

ストップ注文を設定する場合、想定される損失額に加え、通常の維持証拠金額に対して、この銘柄ごとに定められたスリッページ係数分が加算されます。(P5「維持証拠金について 維持証拠金額の計算方法」参照)

コード

I チャート・シンボルコード GOLD

銘柄コードです。

ファインダの検索を銘柄コードで行うこともできます。アドバンスチャートをご利用の場合も検索に利用できます。

J ニュースコード GOL

クリックするとニュース画面が起動し、関連するニュースをご覧いただけます。

P 証拠金額

本サービスでは、特定の銘柄に対して「変動証拠金制度」を導入しています。変動証拠金制度は、お客さまの保有する総ポジション数に応じた証拠金額(証拠金率)を設定する制度です。本制度により、同一銘柄において保有ポジション数が少ない場合は原市場に与える影響が小さいため、証拠金率は「最低証拠金率」に抑えられますが、ポジション数が増えると、原市場に与える影響が大きくなり、総ポジション全てを一括して清算することが難しくなるため、証拠金率が段階的に高くなりますので、ご注意ください。

ウォール街株価指数先物の場合、レベル 1、レベル 2、レベル 3 は 3% となりますが、740 ロット以上のレベル 4 では 1 ロットあたり 5% の維持証拠金率となります。

また、レベル 2(37 ロット以上)から通常のストップ注文において、証拠金の減額はありません。

※設定されている数値は固定ではありませんので、マーケットの状況に応じて変動する場合があります

PART 1 取引をはじめる前に

取引情報について

商品先物 CFD 取引 《取引概要》

商品先物 CFD 取引の場合、このような情報が表示されます。

WTI 原油先物の場合

取引銘柄情報		
WTI原油先物		
取引時間	取引開始時間	取引終了時間
(B) 取引時間 (日本時間)	08:00	07:15
取引条件		
(C) 最低取引数	1 約定取引数	
(D) 1ロットの取引額(1ピップ毎)	USD 10	
(E) 1ピップ相当値	1 cent per barrel	
(F) 1ピップ相当額	USD 10 (JPY 905)	
(G) 維持証拠金額(1取引毎)	USD 1,500 (JPY 135,750)	
(H) 最低ストップ値幅	9	
(I) 最低ギャランティーストップ幅	30	
(J) 1取引毎のスリッページ係数	USD 300 (JPY 27,150)	
コード		
(K) チャート・シンボルコード	-	
ニュースコード	O/N	
清算情報		
(L) 清算日	10/04/20	
(M) 最終取引日時	10/04/21 04:30	
(N) 清算方法	Settles basis the official closing price of the Nymex Crude Oil future on the last dealing day.	
ロールオーバー		
(O) ロールオーバー更新時刻	10/04/21 04:15	
(P) ロールオーバー情報	Usually, initial position closed at official closing level of day before last dealing day +/- closing spread; new position in next contract opened at official closing level of the new contract from same day. +/- 60% opening spread (and DR premium).	
証拠金額		
お客様のこの銘柄におけるポジションの総計には、以下の証拠金率変動制度に合った証拠金率が適用されます:		
階層	ポジション数 (取引口数)	維持証拠金額(1取引毎)
1	0 - 550	1500
2	550 - 2210	1500
3	2210 - 11000	2700
4	11000+	5400
その他		
追加情報		
注記:弊社はこの情報の正確性については万全を期しておりますが、その内容の正確性を保証するものではありません。		

(A) MAY-10

先物取引の場合「限月」が表示されます。「MAY-10」の場合「10年5月限」となります。

取引条件

(B) 取引時間 (日本時間) 08:00 07:15

取引可能な時間です。08:00-07:15 の場合、午前 8 時から翌日の午前 7:15 まで取引ができます。

(C) 最低取引数 1 約定取引数

最低取引ロット数が 1 ロットとなります。

(D) 1 ロットの取引額(1ピップ毎) USD 10

1 ロットあたりの取引金額が、「USD10」の場合、1 ピップ(=1 セント=0.01 ドル)あたり 10 ドル、すなわち 1,000 倍の取引額となります。WTI 原油先物の場合、マーケットレートは 1 バレルあたりの値段です。1 バレルあたり 1 セント(0.01ドル)の値動きで、10ドル(1,000セント)の損益が発生するという事は、1 ロットで 1,000 バレルの取引を行っているということです。よって、取引レート 70 ドルで 1 ロット買いポジションを保有している場合、70 ドル×1,000 バレル=70,000 ドル、USD/JPY が 100.00 円の場合は 7,000,000 円が総取引金額となります。

ワンポイント

日本での単位は一般的に「リットル」ですが、国際的な原油・石油製品の単位は「バレル」が用いられ、1 バレル≒159 リットルとなります。よって、1 ロット=159 キロリットル(159,000 リットル)のお取引になります。また、通常 WTI 原油先物は「00. 00ドル」もしくは「00ドル00セント」と表示しますが、本取引システムでは 4 桁「0000」と表示していますので、単位はセントとなります。

(E) 1ピップ相当値 1 cent per barrel

その銘柄の最小単位で、「1 cent per barrel」の場合、1 ピップが 1 セントとなります。

(F) 1ピップ相当額 USD 10 (JPY905)

1 ロットの取引で 1 ピップの値動きに対する損益額です。「USD10(JPY905)」の場合、1 ピップの値動きで 10 ドル、USD/JPY が 90.50 円の場合、905 円(10ドル×90.50 円)となります。

(G) 維持証拠金額(1取引毎) USD 1,500 (JPY135,750)

ストップ注文を付加していないポジションを保有するために必要な維持証拠金額です。「USD1,500」の場合、1 ロットあたり「定額」となっており、USD/JPY が 90.50 円の場合、1,500 ドル×90.50 円(USD/JPY)×1(ロット数)=135,750 円(維持証拠金額)となります。維持証拠金(=証拠金有効残高とする)1,500 ドルに対して 20%(300 ドル)を超える未確定損失が発生した場合に強制ロスカットとなり、300 ドル÷1,000=0.3 ドル(30 セント)がその値動きとなります。そして 1,500 ドル÷1,000=1.5 ドル(150 セント)の値動きで、維持証拠金に対して同額の利益もしくは損失となります。(P5「維持証拠金について 維持証拠金の計算方法」参照)

PART 1 取引をはじめる前に

取引情報について

H 最低ストップ値幅 9

ストップ注文を設定する場合の、マーケットレートからの最低乖離幅です。
「9」の場合、マーケットレートに対して、9 ピップ(ポイント)以上での設定となります。チケットでは「Min:9」と表示されます。

I 最低ギャランティーストップ幅 30

ギャランティーストップ注文を設定する場合の、マーケットレートからの最低乖離幅です。
「30」の場合、マーケットレートに対して、30 ピップ以上での設定となります。チケットでは「Min:30」と表示されます。

J 1 取引毎のスリッページ係数 USD 300 (JPY27,150)

ストップ注文を設定する場合、想定される損失額に加え、通常の維持証拠金額に対して銘柄ごとに定められたスリッページ係数分が加算されます。(P5「維持証拠金について 維持証拠金額の計算方法」参照)

コード

K ニュースコード O/N

クリックするとニュース画面が起動し、関連するニュースをご覧いただけます。

取引最終日

L 清算日 10/04/20

原市場における納会日(先物取引契約の取引期限)に基づいた、取引システム上で取引できる「満期日(最終清算日)」です。

M 最終取引日時 10/04/21 04:30

システム上で取引できる最終日時(日本時間)です。

N 清算方法

最終取引日時に自動的に清算される方法です。

注意!

先物取引は、各限月ごとに定められた最終取引日時までポジションを保有し続けると、自動的に清算されます。ポジションを保有している限月を清算し、期先(期限が先)の限月でポジションを保有しなおす「ロールオーバー」を自動的にシステム上で行うことはできません。

「清算日」と「清算方法」についてはサービスサイトの

「商品 CFD(貴金属)契約詳細情報」 http://www.marketdatasystems.com/cfd_plus/indices-cd.html

「商品 CFD(エネルギー)契約詳細情報」 http://www.marketdatasystems.com/cfd_plus/energies-cd.html

「商品 CFD(ソフト)契約詳細情報」 http://www.marketdatasystems.com/cfd_plus/commodities-cd.html

でご確認の上、十分ご注意ください。

ロールオーバー

O ロールオーバー更新時刻 10/04/21 04:15

エフエックス・オンライン・ジャパンで事前にロールオーバーの処理を希望されたお客さまのポジションを清算し、期先の限月でポジションを保有しなおす処理を行う時間です。

P ロールオーバー情報

ロールオーバー更新時刻にロールオーバーを行う方法です。

Q 証拠金額

本サービスでは、特定の銘柄に対して「変動証拠金制度」を導入しています。変動証拠金制度は、お客さまの保有する総ポジション数に応じた証拠金額(証拠金率)を設定する制度です。本制度により、同一銘柄において保有ポジション数が少ない場合は原市場に与える影響が小さいため、証拠金率は「最低証拠金率」に抑えられますが、ポジション数が増えると、原市場に与える影響が大きくなり、総ポジション全てを一括して清算することが難しくなるため、証拠金率が段階的に高くなりますので、ご注意ください。

ウォール街株価指数先物の場合、レベル 1、レベル 2、レベル 3 は 3%となりますが、740 ロット以上のレベル 4 では 1 ロットあたり 5%の維持証拠金率となります。

また、レベル 2(37 ロット以上)から通常のストップ注文において、証拠金の減額はありせん。

※設定されている数値は固定ではありませんので、マーケットの状況に応じて変動する場合があります

PART 1 取引をはじめる前に

取引情報について

債券先物 CFD 取引 《取引概要》

債券先物 CFD 取引の場合、このような情報が表示されます。

日本国債先物の場合

取引銘柄情報 X

日本国債先物 (A) JUN-10

取引時間	取引開始時間	取引終了時間
(B) 取引時間 (日本時間)	09:05	11:00
(C) 次の取引開始時間	12:31	15:00
(D)	15:31	18:00

取引条件

(E) 最低取引数	1 約定取引数
(F) 1 ロットの取引額(1ピップ毎)	JPY 10,000
(G) 1ピップ相当値	1
(H) 1ピップ相当額	JPY 10,000
(I) 維持証拠金額(取引毎)	JPY 950,000
(J) 最低スワップ値	12
(K) 最低マージン/イストッパ値	40
(L) 1取引毎のスリッページ係数	JPY 190,000

コード

チャート・シンボルコード -

(M) ニュースコード GVD & JP

清算情報

(N) 清算日 10/06/10

(O) 最終取引日時 10/06/09 15:00

(P) 清算方法 Settles basis the final settlement price of the 10-year JGB futures as reported by TSE.

ロールオーバー

(Q) ロールオーバー更新時刻 10/06/09 15:45

(R) ロールオーバー情報 Usually, initial position closed at official closing level of day before last dealing day +/- closing spread; new position in next contract opened at official closing level of the new contract from same day, +/- 60% opening spread (and GR premium).

その他

追加情報

注記:弊社はこの情報の正確性については万全を期しておりますが、その内容の正確性を保証するものではありません。

(A) JUN-10

先物取引の場合「限月」が表示されます。「JUN-10」の場合「10年6月限」となります。

取引条件

(B) 取引時間 (日本時間) 09:05 11:00

(C) 次の取引開始時間 12:31 15:00

(D) (イブニングセッション) 15:31 18:00

取引が行われているマーケットオープン時間です。原市場となる取引所の取引時間とは異なる場合がありますのでご注意ください。上記の取引時間帯であればマーケット(成行)注文を出すことができます。取引が行われていないマーケットクローズとなっている時間帯でも (D) になっていれば、リブオーダーを出すことはできます。



注意!

マーケットクローズ時のリブオーダーは、オープン時よりもロット数の上限が引き下がる場合があります。また、リブオーダーの変更/取消であってもお受けできない場合があります。

(E) 最低取引数 1 約定取引数

最低取引ロット数が1ロットとなります。

(F) 1 ロットの取引額(1ピップ毎) JPY 10,000

1 ロットあたりの取引金額が、「JPY10,000」の場合、1 ピップ(=1 銭=0.01 円)あたり 10,000 円、すなわち 100 万倍(10,000 円÷0.01 円)の取引額となります。本取引システムでの日本国債先物の場合、マーケットレートは額面 100 円あたりの値段で、単位は銭になります。1 ロットで 100 万倍の取引ということは、額面で言うと 1 億円になります。よって、取引レート 130.00 銭(130.00)円で 1 ロット買いポジションを保有している場合、130.00 円×10,000×100 円=1 億 3 千万円(額面 1 億円)が総取引金額となります。

ワンポイント

通常、日本国債先物は「〇〇〇.〇〇円」もしくは「〇〇〇円〇〇銭」と表示しますが、本取引システムでは 5 桁「〇〇〇〇〇」で表示していますので、単位は銭になります。

(G) 1 ピップ相当値 1

その銘柄の最小単位で、「1」の場合、日本国債先物で 1 銭となります。

(H) 1 ピップ相当額 JPY 10,000

1 ロットの取引で 1 ピップの値動きに対する損益額です。

「JPY10,000」の場合、1 ピップ(銭)あたり 10,000 円の損益となります。額面 100 円に対し 1%(100 銭=1.00 円)の値動きとなった場合、100 ピップ(銭)×10,000 円=1,000,000 円の損益となり、1 億円に対して同様に 1%の値動きとなります。

PART 1 取引をはじめる前に

取引情報について

① 維持証拠金額(1取引毎) JPY 950,000

ストップ注文を付加していないポジションを保有するために必要な維持証拠金額です。「JPY950,000」の場合、1ロットあたり「定額」となっており、 $950,000 \times \text{ロット数} = \text{維持証拠金額}$ となります。維持証拠金 JPY950,000 は、マーケットレートを 130.00 円とした場合、証拠金率で約 0.73%、レバレッジで言うと約 137 倍に値します。計算式は下記の通りです。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{維持証拠金} & & \text{総取引金額} & & \text{維持証拠金率} & & \text{レバレッジ} \\ 950,000 \text{ 円} & \times & (130 \text{ 円} \times 1,000,000) & = & 0.73\% & \times & 100 \\ & & & & & & \text{維持証拠金率} & & & & & & \text{レバレッジ} \\ & & & & & & 100 & \times & 0.73\% & = & & & \text{約 } 137 \text{ 倍} \end{array}$$

維持証拠金(=証拠金有効残高とする)950,000 円に対して 20%(190,000 円)を超える未確定損失が発生した場合に強制ロスカットとなり、 $190,000 \text{ 円} \div 10,000 = 19 \text{ ピップ}(19 \text{ 銭})$ がその値動きとなります。そして $950,000 \text{ 円} \div 10,000 = 95 \text{ ピップ}(95 \text{ 銭})$ の値動きで、維持証拠金に対して同額の利益もしくは損失となります。(P5「維持証拠金について 維持証拠金の計算方法」参照)

② 最低ストップ値幅 12

ストップ注文を設定する場合の、マーケットレートからの最低乖離幅です。「12」の場合、マーケットレートに対して、12 ピップ(ポイント)以上での設定となります。チケットでは「Min:12」と表示されます。

③ 最低ギャランティストップ幅 40

ギャランティストップ注文を設定する場合の、マーケットレートからの最低乖離幅です。「30」の場合、マーケットレートに対して、30 ピップ以上での設定となります。チケットでは「Min:30」と表示されます。

④ 1取引毎のスリッページ係数 JPY 190,000

ストップ注文を設定する場合、想定される損失額に加え、通常の維持証拠金額に対して銘柄ごとに定められたスリッページ係数分が加算されます。(P5「維持証拠金について 維持証拠金額の計算方法」参照)

コード

⑤ ニュースコード GVD & JP

クリックするとニュース画面が起動し、関連するニュースをご覧いただけます。

取引最終日

⑥ 清算日 10/06/10

原市場における納会日(先物取引契約の取引期限)に基づいた、取引システム上で取引できる「満期日(最終清算日)」です。

⑦ 最終取引日時 10/06/09 15:00

システム上で取引できる最終日時(日本時間)です。

⑧ 清算方法

最終取引日時に自動的に清算される方法です。

注意!

先物取引は、各限月ごとに定められた最終取引日時までポジションを保有し続けると、自動的に清算されます。ポジションを保有している限月を清算し、期先(期限が先)の限月でポジションを保有しなおす「ロールオーバー」を自動的にシステム上で行うことはできません。「清算日」と「清算方法」についてはサービスサイトの「債券先物・金利先物契約詳細情報」http://www.marketdatasystems.com/cfd_plus/rates-bonds-cd.htmlでご確認の上、十分ご注意ください。

ロールオーバー

⑨ ロールオーバー更新時刻 10/06/09 15:45

エフエックス・オンライン・ジャパンで事前にロールオーバーの処理を希望されたお客さまのポジションを清算し、期先の限月でポジションを保有しなおす処理を行う時間です。

⑩ ロールオーバー情報

ロールオーバー更新時刻にロールオーバーを行う方法です。

※設定されている数値は固定ではありませんので、マーケットの状況に応じて変動する場合があります

PART 1 取引をはじめる前に

取引情報について

金利先物 CFD 取引 《取引概要》

金利先物 CFD 取引の場合、このような情報が表示されます。

ユーロ円金利(3ヶ月)先物の場合

取引銘柄情報	
ユーロ円金利(3ヶ月)先物 (A) SEP-10	
取引時間	取引開始時間 取引終了時間
(B) 取引時間 (日本時間)	08:45 11:30
(C) 次の取引開始時間	12:30 20:00
取引条件	
(D) 最低取引数	1 約定取引数
(E) 1ロットの取引額(1ピップ毎)	JPY 2,500
(F) 1ピップ相当値	1
(G) 1ピップ相当額	JPY 2,500
(H) 維持証拠金額(取引毎)	JPY 16,250
(I) 最低ストップ幅	5
(J) 最低ボラティリティ幅	15
(K) 1取引毎のスリッページ係数	JPY 3,250
コード	
(L) チャート・シンボルコード	-
(L) ニュースコード	INT & JP
清算情報	
(M) 清算日	10/09/13
(N) 最終取引日時	10/09/13 21:05
(O) 清算方法	Settles basis the Final Settlement Price of Euroyen futures as reported by Simex.
ロールオーバー	
(P) ロールオーバー更新時刻	10/09/13 20:50
(Q) ロールオーバー情報	Usually, initial position closed at official closing level of day before last dealing day +/- closing spread; new position in next contract opened at official closing level of the new contract from same day, +/- 60% opening spread (and OR premium).
その他	
追加情報	
注記: 弊社はこの情報の正確性については万全を期しておりますが、その内容の正確性を保証するものではありません。	

(A) SEP-10

先物取引の場合「限月」が表示されます。「SEP-10」の場合「10年9月限」となります。

取引条件

(B) 取引時間 (日本時間) 08:45 11:30

(C) 次の取引開始時間 12:30 20:00

取引が行われているマーケットオープン時間です。原市場となる取引所の取引時間とは異なる場合がありますのでご注意ください。上記の取引時間帯であればマーケット(成行)注文を出すことができます。取引が行われていないマーケットクローズとなっている時間帯でも (I) になっていれば、リブオーダーを出すことはできません。

注意!

マーケットクローズ時のリブオーダーは、オープン時よりもロット数の上限が引き下がる場合があります。また、リブオーダーの変更/取消であってもお受けできない場合があります。

(D) 最低取引数 1 約定取引数

最低取引ロット数が1ロットとなります。

(E) 1ロットの取引額(1ピップ毎) JPY 2,500

1ロットあたりの取引金額が、「JPY2,500」の場合、1ピップあたり2,500円、すなわち2,500万倍の取引額となります。(下記「1ピップ相当額 JPY2,500」参照)

ワンポイント

通常、ユーロ円金利(3ヶ月)先物は「〇〇.〇〇」と表示しますが、本取引システムでは4桁「〇〇〇〇」で表示していますので、通常の100倍の表記となっています。

(F) 1ピップ相当値 1

その銘柄の最小単位で、「1」の場合、1ポイントとなります。

(G) 1ピップ相当額 JPY 2,500

1ロットの取引で1ピップの値動きに対する損益額です。

「JPY2,500」の場合、マーケットレート1ピップ(1銭=0.01円)の変動で2,500円の損益となります。

ワンポイント

1ポイントの値動きで発生する損益2,500円の計算方法は下記ようになります。

本取引システムでのユーロ円金利(3ヶ月)先物の場合、マーケットレートは原市場に基づいて100から年金利を差し引いた数値となっており、単位はポイントです。(例)100(%) - 0.05(%) = 99.95(ポイント) → システム表記「9995」

ユーロ円金利(3ヶ月)先物は1ロットで額面1億円の取引となります。1ポイントは0.01%(×0.0001)ですので、1億円×0.0001=10,000円となります。ただし、この10,000円は1年分の金利となり、「ユーロ円金利(3ヶ月)先物」はその名の通り3ヶ月物です。よって3/12ヶ月(4分の1)にすることによって、2,500円となります。

PART 1 取引をはじめる前に

取引情報について

H 維持証拠金額(1取引毎) JPY 16,250

ストップ注文を付加していないポジションを保有するために必要な維持証拠金額です。「JPY16,250」の場合、1ロットあたり「定額」となっており、 $16,250 \times \text{ロット数} = \text{維持証拠金額}$ となります。
維持証拠金(=証拠金有効残高とする)16,250円に対して20%(3,250円)を超える未確定損失が発生した場合に強制ロスカットとなり、 $3,250 \text{円} \div 2,500 = 1.3$ ピップがその値動きとなります。そして $16,250 \text{円} \div 2,500 = 6.5$ ピップの値動きで、維持証拠金に対して同額の利益もしくは損失となります。(P5「維持証拠金について 維持証拠金の計算方法」参照)

I 最低ストップ値幅 5

ストップ注文を設定する場合の、マーケットレートからの最低乖離幅です。
「5」の場合、マーケットレートに対して、5ピップ(ポイント)以上での設定となります。チケットでは「Min:5」と表示されます。

J 最低ギャランティーストップ幅 15

ギャランティーストップ注文を設定する場合の、マーケットレートからの最低乖離幅です。
「15」の場合、マーケットレートに対して、15ピップ以上での設定となります。チケットでは「Min:15」と表示されます。

K 1取引毎のスリッページ係数 JPY 3,250

ストップ注文を設定する場合、想定される損失額に加え、通常の維持証拠金額に対して銘柄ごとに定められたスリッページ係数分が加算されます。(P5「維持証拠金について 維持証拠金額の計算方法」参照)

コード

L ニュースコード INT & JP

クリックするとニュース画面が起動し、関連するニュースをご覧いただけます。

取引最終日

M 清算日 10/09/13

原市場における納会日(先物取引契約の取引期限)に基づいた、取引システム上で取引できる「満期日(最終清算日)」です。

N 最終取引日時 10/09/13 21:05

システム上で取引できる最終日時(日本時間)です。

O 清算方法

最終取引日時に自動的に清算される方法です。



注意!

先物取引は、各限月ごとに定められた最終取引日時までポジションを保有し続けると、自動的に清算されます。ポジションを保有している限月を清算し、期先(期限が先)の限月でポジションを保有しなおす「ロールオーバー」を自動的にシステム上で行うことはできません。「清算日」と「清算方法」についてはサービスサイトの「債券先物・金利先物契約詳細情報」http://www.marketdatasystems.com/cfd_plus/rates-bonds-cd.htmlでご確認の上、十分ご注意ください。

ロールオーバー

P ロールオーバー更新時刻 10/09/13 20:50

エフエックス・オンライン・ジャパンで事前にロールオーバーの処理を希望されたお客さまのポジションを清算し、期先の限月でポジションを保有しなおす処理を行う時間です。

Q ロールオーバー情報

ロールオーバー更新時刻にロールオーバーを行う方法です。

※設定されている数値は固定ではありませんので、マーケットの状況に応じて変動する場合があります